

大田区保健師募集案内

大田区で
保健師しませんか？



©大田区

大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」



大田区役所

健康政策部健康医療政策課健康政策担当

〒144-8621 東京都大田区蒲田 5-13-14

(電話) 03-5744-1728

大田区の魅力

大田区は東京都の東南部に位置しており、東は東京湾、西・南は多摩川に面し、江東区、品川区、目黒区、世田谷区、神奈川県川崎市と隣接しています。23区内では、最も面積が広く、人口は3番目に多いです(令和7年1月時点で約74万人)。

大田区は、4つの地域に分かれています。

大森…JRの線路を挟んで海側と山側で表情の異なる地域

海側は浜辺公園や市場があり、山側は池上本門寺などの歴史的資源や住宅街がある

調布…季節により、梅や桜、櫻、銀杏などが街並みを彩り、閑静な住宅街が広がる

蒲田…駅を中心に商業地区を形成し、東急・京急・JR線で区内外へのアクセスが良い

糀谷・羽田…国内外を空でつなぐ東京国際空港(羽田空港)があり、住宅と工場が混在し、古くから続く商店街や飲食店がある

大田区は「東京の縮図」といわれるほど、多くの魅力と可能性を持っています。こんな大田区だからこそ、保健師としても様々な業務を幅広く経験することができます。



保健師の配属先

■本庁

健康医療政策課

計画策定、人材育成、災害活動

健康づくり課

健康づくり、母子・成人・精神保健、自殺対策、難病対策

感染症対策課

感染症の予防・拡大防止、患者の療養支援

▲子ども家庭支援センター

子どもと家庭に関する相談、児童虐待対策

●地域庁舎

(大森、調布、蒲田、糀谷・羽田)

地域健康課

母子保健(赤ちゃん訪問、乳幼児健診)、

成人保健(健康教育等)、難病相談

こども家庭センター

母子保健(体制強化事業)

地域福祉課

精神保健、高齢福祉

保健師の仕事

保健師は、赤ちゃんから高齢者まで、あらゆる年齢層の健康の保持増進と疾病予防に取り組む地域の看護職です。100人を超える保健師が、様々な分野で区民の健康保持増進に向け働いています。

■業務・地区担当



- 母子・精神・感染症・高齢者など専門分野ごとに分かれています。
- 分野ごとに一定の地域をひとりの保健師が受け持っています。

■母子保健



- 妊婦面接、赤ちゃんの全家庭訪問を行っています。
- 育児不安のあるお母さんを対象にした育児学級の開催や、自主的活動のサポートを行います。
- 乳幼児健診や、児童館などへの出張健康教育も行っています。

■成人保健



- 企業・事業所や小学校、区民を対象に、出張健康教育を行っています。
- 難病患者の地域生活における困りごとの相談を受けています。

■感染症対策



- 感染症発生時に、調査やまん延防止策を講じます。
- 福祉施設向けの感染症予防教室や新興感染症に備えた訓練も行っています。

■精神保健



- 地域で暮らす精神障がい者の療養・社会復帰の相談を受けています。
- デイケアや依存症ミーティングなども行っています。

■高齢者支援



- 虐待等困難事例について地域包括支援センターを支援します。
- ケアマネージャー向けの研修や地域の関係者のネットワークづくりを行っています。

研修体系

大田区では、職場全体で新規採用職員をサポートする環境づくりに取り組んでいます。保健師の専門能力については「大田区保健師人材育成ガイドライン」に沿って計画的に育成しています。

●新任期保健師のサポート

採用後3年までを「新任期」と位置付け、継続的・計画的に育成します。

新規採用1年間は、専任の「新人育成リーダー」(プリセプター)が相談・指導にあたります。

2~3年目は、職場の「人材育成担当」や係長が相談を受けます。

●行政職員として

公務員として、職位に応じた役割が果たせるように、基礎知識の習得やスキルアップに向けた研修があります。

●専門職として

専門職として必要な知識や技術を習得するため、様々な研修を企画しています。

東京都や外部団体が主催する研修も受講できます。



先輩保健師からのメッセージ

感染症対策課 白坂さん
(令和6年度入庁)



- 8:30 始業、スケジュール・業務・メッセージの確認
9:00 担当地区ケースの面接・訪問・電話

13:00 結核患者の自宅訪問、疫学調査やDOTSの実施
16:00 事業準備（資料作成等）
17:15 終業

私は、看護師として臨床経験を経て、大田区に入庁しました。

現在は、結核患者の管理、疫学調査、講演会の企画・実施、啓発事業等を行っています。

職場は親しみやすさと専門性が調和した環境で、「わからないことを素直に聞ける」文化があります。経験豊富な先輩方から若手まで、多くの人がいるので、一人で抱え込まず、様々な視点からアドバイスを得ることができます。あなたの視点や専門知識を發揮して、チームで支えあいながら区民の健康を守ることができます。

区のスポーツ大会に参加しました。



調布地域福祉課 杉町さん
(令和6年度入庁)



- 8:30 始業、スケジュール・業務・メッセージの確認
9:00 担当地区ケースの面接・訪問・電話

13:00 入院中のケースの訪問、カンファレンスに参加
16:00 電話対応、記録作成
17:15 終業

私は、介護職として療養型病院勤務、看護職として混合病棟と特別養護老人ホーム勤務の経験を経て、大田区に入区しました。

現在、精神保健分野で、訪問や通院支援を行っています。障害福祉サービス・依存症・ひきこもりの相談、退院後支援、関係機関と連携して複合的な課題にも取り組んでいます。

大田区は、多様な地域特性を持つ区ですが、新任期でも相談しやすい環境が整っており、先輩職員のサポートを受けながら安心して保健師としての専門性や対応力を磨くことができます。



大田区には4人の男性保健師がいます

調布地域健康課 長家さん
(平成30年度入庁)



- 8:30 始業、スケジュール・業務・メッセージの確認
9:00 体制強化事業 チーム会議にて支援方針を検討
11:00 電話対応、記録作成
12:45 乳幼児健診に従事
16:15 終業（1時間部分休業）

私は、子育てをしながら働いています。母子リーダー（課の母子保健実務の取りまとめ）、学生実習指導、5歳児健診等の事業を担当しています。保健師の仕事は、個別性が非常に大きく、世帯や個人に合わせ、周囲に相談、試行錯誤ながら対応しています。

妊娠・出産・育児の休暇制度が充実しており、職場に子育て中の保健師も多く、お互い子どもの急な体調不良で休む場合があるので、理解があると感じています。仕事と育児を両立しながら働き続ける事ができる職場環境だと思います。



行政保健師のキャリア形成

保健師の経験を活かし、管理職へ

障害福祉課 竜崎課長 (平成6年度入庁)

私は、障害福祉課で課長として働いています。障害福祉課では障害福祉に関する事業、制度等に関する管理業務を行っています。直接区民の方に対応することは少なくなりましたが、仕事をするうえで現場を見ることが大切にして働いてきました。自分や支援する人の軸足がどこにあるかを、常に思うことを心がけています。福祉部での経験は、健康部門に行ってもとても役に立ちました。そして管理職になっても、これまでの経験がマイナスになることはなく、活動のなかでのいろいろな方との出会いが今でも力になっています。保健師の仕事は幅広がくて自分の人生も豊かにしてくれました。空港や一級河川もあるバラエティに富んだ大田区での保健師の仕事は、大変だけれどやりがいもあると思います。

